

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(5/11)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	3.8	4.0 進捗度 ・特区発ロボットの商品化状況 125% ・実証実験等の実施件数 207% ・ロボット関連事業所の集積割合 43%	3.0 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化等 地域独自の取組 ・「インベスト神奈川」等による企業誘致の促進 ・「県版特区」の推進等	4.0	<p>・着実に進捗しており、さらなる進展を期待する。</p> <p>・前年度の所見を踏まえ、多面的な評価指標の改善に取り組まれている点は評価できる。一方で、カギとなる商品化の詳細な評価のための指標や、地域社会活性化の成果を示すための工業出荷額や新規雇用数といった指標も必要ではないか。</p> <p>・評価指標(3)のロボット関連事業所の集積に関する評価について、「ロボット関連」の定義をより明確にしてはどうか。また、物理的な集積以外にも共同研究や人材交流などの人的資本・技術的な側面からの集積も考慮するような指標を用いてはどうか。</p> <p>・ロボット関連企業の事業所建設計画件数に関しては、首都圏の競合地区にはない特色を戦略的に創出してアピールする必要がある。</p>